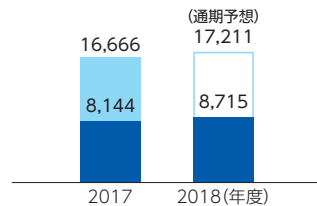


売上高

8,715 百万円
(前年同期比 7.0%増)

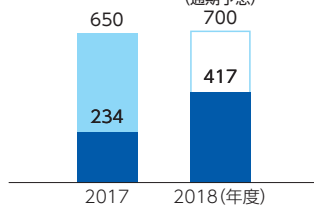
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



営業利益

417 百万円
(前年同期比 78.3%増)

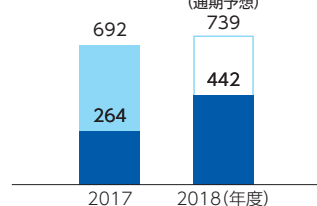
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



経常利益

442 百万円
(前年同期比 67.2%増)

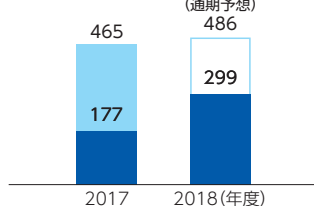
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



四半期(当期)純利益

299 百万円
(前年同期比 69.2%増)

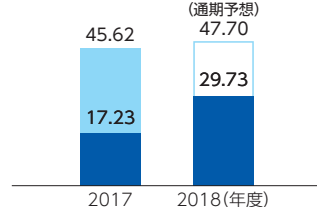
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

29.73 円

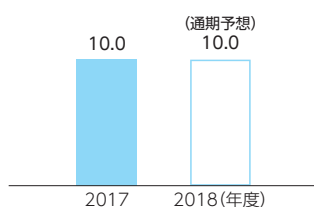
■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想
(単位: 円)



1株当たり配当金

10.0 円

■ 通期 □ 通期予想
(単位: 円)



株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式の総数 11,200,000株
株主数 3,725名
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)	
安藤文男	1,515	15.21	現当社代表取締役社長
I K I 持株会	1,068	10.72	
株式会社三菱UFJ銀行	214	2.15	
株式会社千葉興業銀行	203	2.04	
有限会社エム・ビ・エス	200	2.01	
三井ホールディングス株式会社	200	2.01	
春日正好	160	1.61	現当社最高顧問
塚田克巳	94	0.94	
亀井慶紀	85	0.85	
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	79	0.80	

(注) 1.当社は、自己株式1,238,258株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月に開催
同総会議決権行使株主確定日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日(中間配当を行う場合)
その他の基準日 上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定いたします。

公告掲載URL 当社ホームページ
<https://www.ikic.co.jp/>
に掲載いたします。(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都府中市日鋼町1番地1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

アイエックス・ナレッジ株式会社

〒108-0022 東京都港区海岸3-22-23
TEL.03-6400-7000(代表) FAX.03-6400-7900

アイエックス・ナレッジ株式会社

REPORT

第41期 第2四半期

2018年4月1日～2018年9月30日

株主通信



代表取締役社長
安藤 文男

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
このたび、アイエックス・ナレッジ株式会社2018年度第2四半期(2018年4月1日~2018年9月30日)の決算を終了いたしました。ここに業績・トピックスなどをご説明する「株主通信」をお届けいたします。

本誌を通じて当社に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。
今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

<2018年度第2四半期のトピックス>

- 4月** 新入社員77名入社
組織再編（製販一体制へ移行、オープンイノベーション戦略事業部創設）
- 5月** RPAソリューション「WinActor」の取扱開始
情報セキュリティソリューション「AppGuard Enterprise」の取扱開始
- 6月** 「WinActor」「メル訓クラウド」「i-Connection」「Zoom」の拡販に向けAPPS JAPAN2018出展
標的型メール訓練「メル訓クラウド」キャンペーン実施
- 7月** 自己株式 15,000株取得
- 8月** 自己株式 135,000株取得
- 9月** ロボット&プログラム体験教室 上半期5回開催

■ 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 (2018年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2017年度 第2四半期累計)
売上高	8,715	8,144
売上総利益	1,565	1,314
営業利益	417	234
経常利益	442	264
税引前四半期純利益	442	264
四半期純利益	299	177

■ 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

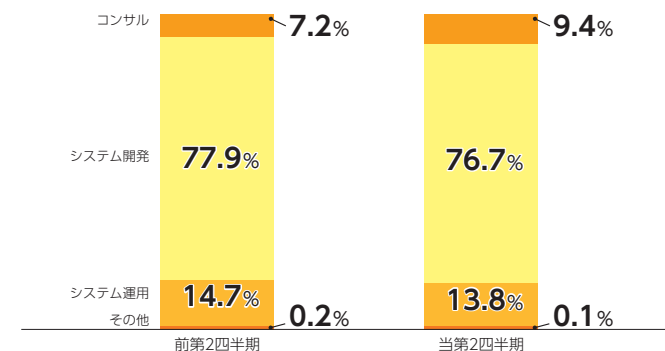
科 目	当第2四半期末 (2018年度 第2四半期会計)	前期末 (2017年度)
資産の部		
流動資産	6,809	6,971
固定資産	2,578	2,417
資産合計	9,388	9,389
負債の部		
流動負債	2,375	2,473
固定負債	2,547	2,593
負債合計	4,922	5,067
純資産の部		
株主資本	4,158	4,090
評価・換算差額等	307	230
純資産合計	4,465	4,321
負債・純資産合計	9,388	9,389

■ キャッシュ・フロー計算書（要旨）

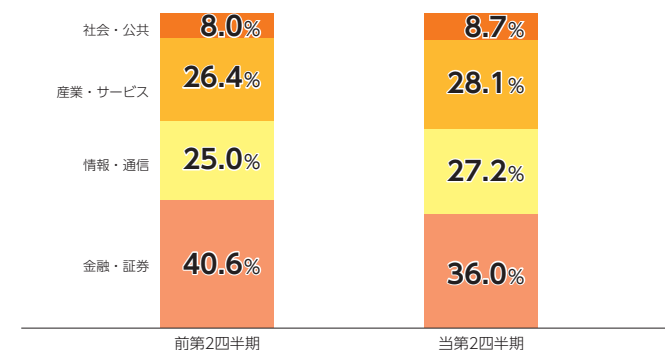
（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 (2018年度 第2四半期累計)	前第2四半期 (2017年度 第2四半期累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	184	311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282	△235
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,866	3,588

■ 品目別売上高比率



■ 業種別売上高比率



ポイント解説

■ 損益計算書

売上高は、大手通信事業者向けシステム検証案件や大手飲料事業者向けシステム再構築案件、大手重工業メーカー向け開発案件などが堅調に推移し、571百万円の増加（前期比7%増）となりました。利益面では事業の選択と集中を推し進めた効果により、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増加しました。

■ 貸借対照表

前事業年度末に比べ、資産については著しい増減はありませんが、負債のうち「未払金」が減少し、純資産のうち「利益剰余金」が増加した結果、自己資本比率は46.0%から47.6%となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書

営業活動で得た資金を投資活動（有価証券の取得）および財務活動（自己株式の取得、配当金の支払、長期借入金の返済）で支出した結果、現預金残高は3,866百万円となりました。